

四日市ケミカルステーション ご紹介資料

1. 会社概要・アクセス
2. ケミカルワークステーション(CWS)事業説明
関連設備のご紹介
3. タンクコンテナの利用
4. 四日市エリアの
物流ネットワーク



四日市ケミカルステーション株式会社(YCS)

【四日市ケミカルステーション株式会社】(Yokkaichi Chemical Station)

設立年月日 : 2017年 7月 3日

本社所在地 : 三重県四日市市大井の川町 2-1

(三菱ケミカル物流(株) 四日市支社内)

代表者 : 代表取締役社長 橋本 望 (従業員 : 3名)

事業内容 : 液体化学品を取扱う業務 (加温、保管、詰替等)

資本金 : 6,000万円

出資比率 : 三菱ケミカル物流株式会社 65%

日本トランスシティ株式会社 35%

【三菱ケミカル物流株式会社】

設立年月日 : 1956年12月 1日

本社所在地 : 東京都港区芝大門

代表者 : 代表取締役社長 横山 一郎

従業員 : 1,294名(単体)

資本金 : 1,500 百万円

事業内容 : 貨物利用運送事業、倉庫業
内航海運業、3PL事業、タンク事業 他

株主 : 三菱ケミカル株式会社 100%

【日本トランスシティ株式会社】

創業年月日 : 1895年 7月12日

本社所在地 : 三重県四日市市霞

代表者 : 代表取締役社長 安藤 仁

従業員 : 2,295名(連結)

資本金 : 8,428 百万円

事業内容 : 倉庫業、港湾運送業、
貨物自動車運送業、通関業、他

株式 : 東証1部上場 名証1部上場

アクセス



四日市ケミカルステーション株式会社

〒510-0846

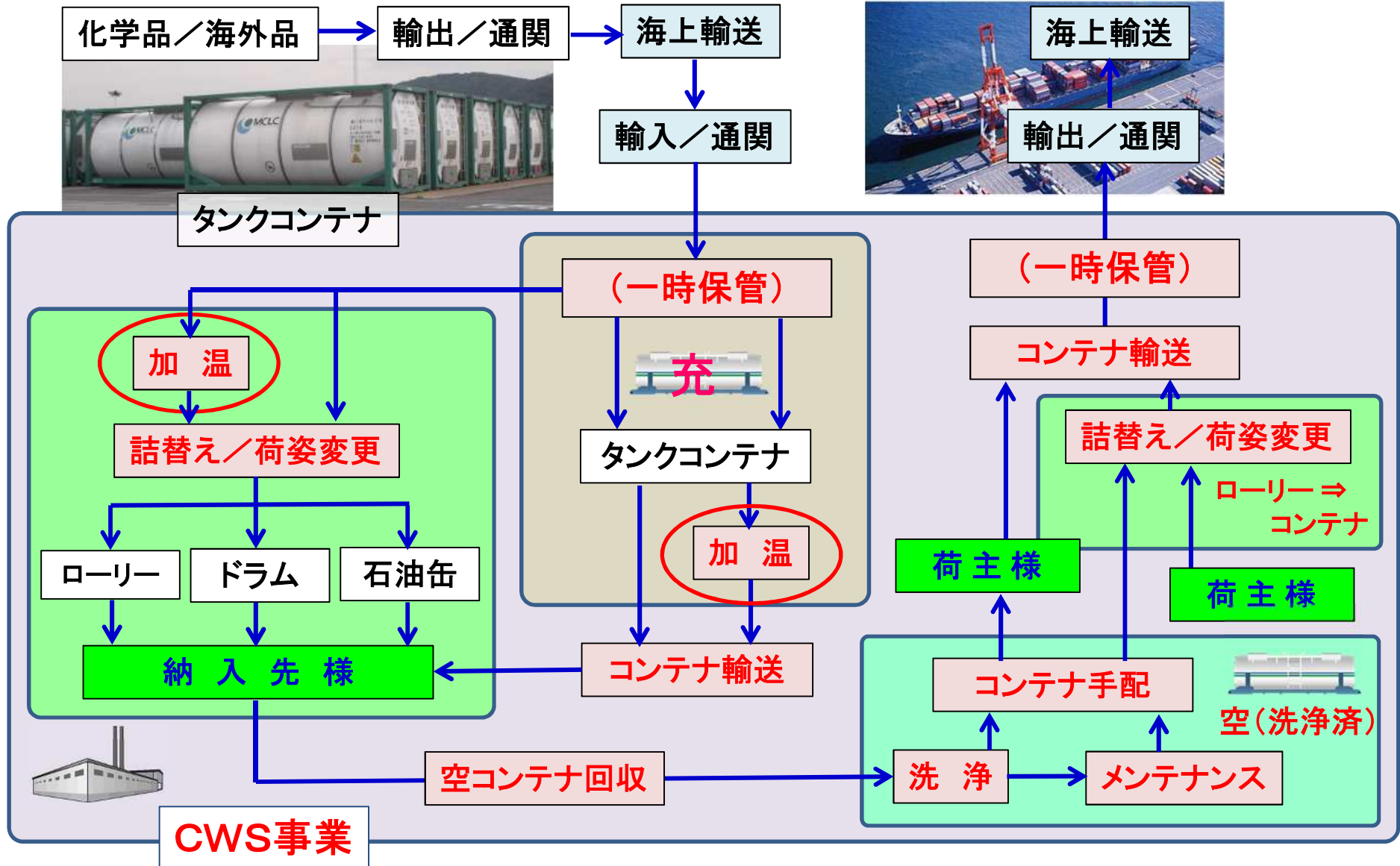
三重県四日市市大井の川町2丁目1番地

TEL: 059-345-7458

ケミカルワークステーション(CWS)事業の概要

CWS (ケミカルワークステーション) 事業

化学品コンテナ輸送の様々なニーズにお応えします。



タンクコンテナ加温設備

全体風景



車搬入



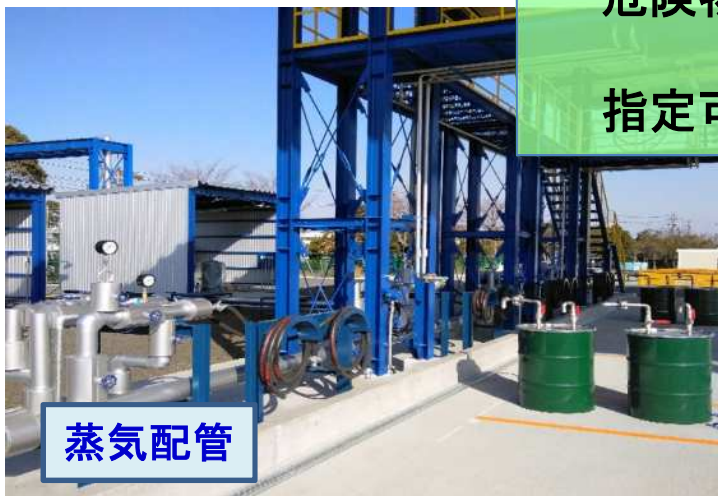
(設備内容)

- ・加温レーン: 4レーン(シャシ付加温)
- ・蒸気温度: 約130℃
- ・窒素封入設備あり
- ・基本稼働時間: 8:30~17:00
- ・輸送便手配可、待機場所2レーン
- ・取扱い物質

危険物第4類 第3石油類(水溶性)
第4石油類

指定可燃物

蒸気配管



窒素封入



【CWS関連設備】タンクコンテナ保管エリア

【バンプール概要】

所在地：三重県四日市市浜園町

最大保管数：240コンテナ

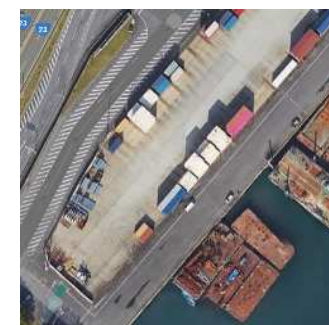
保有設備：リーチスタッカー

(最大荷重：45t)

保管可能貨物：一般貨物
指定可燃物



【日本トランスシティ社運営設備】



©2018 GoogleMap

【CWS関連設備】危険物倉庫

【危険物倉庫例・概要】

所在地：三重県四日市市

常温危険品倉庫

危険物第4類 第1～4石油類
アルコール類

設定温度 +15℃ (140坪)
+ 5℃ (60坪)

低温危険品倉庫

危険物第4類 第1～4石油類
設定温度 + 5℃ (300坪)
-15℃ (300坪)

荷姿：ドラム・缶・IBC(1m³)



【日本トランスシティ社所有設備】



©2018 GoogleMap

タンクコンテナを利用したケミカル物流

「必要なモノを必要な時に必要なだけ」お届けします。

【タンクコンテナの活用例】

1. 油槽船による輸入 ⇒ タンクコンテナによる輸入
2. タンクコンテナによる大量購入（必要量の小分け）

【四日市ケミカルステーション 加温設備の特徴】

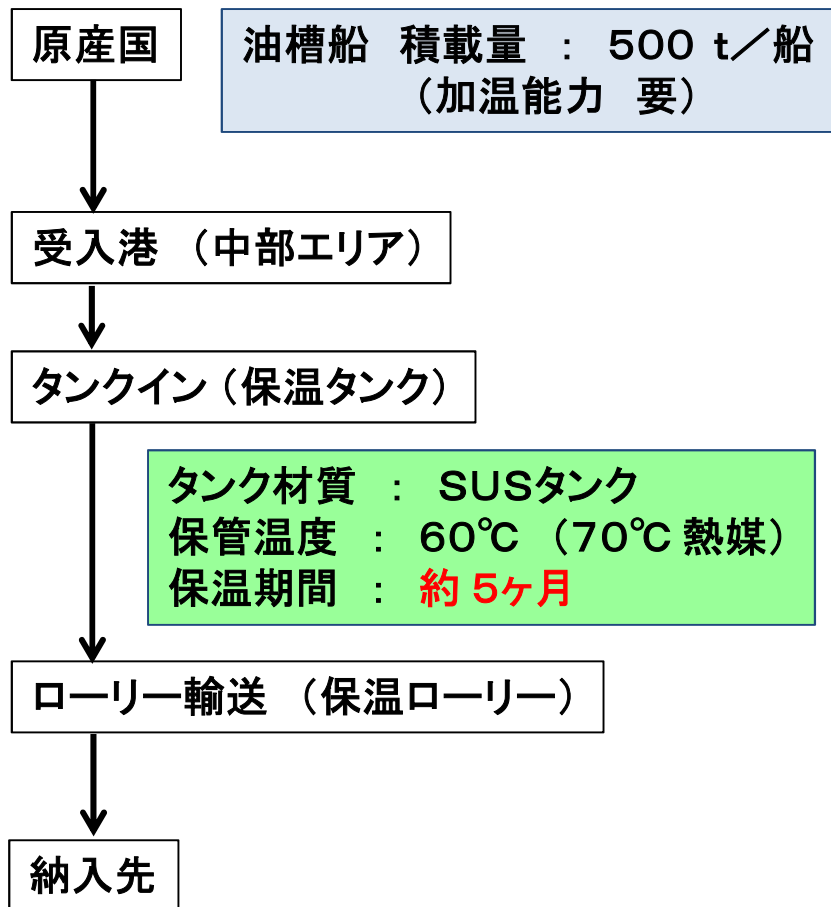
1. 出資会社による物流支援体制
2. 安定したユーティリティの供給（三菱ケミカル 三重事業所内設置）
3. 四日市地区の特徴を活かした物流ネットワーク
 - a. 四日市港の活用
 - b. 拡がる高速道路網

タンクコンテナによる効率化案件例(1)

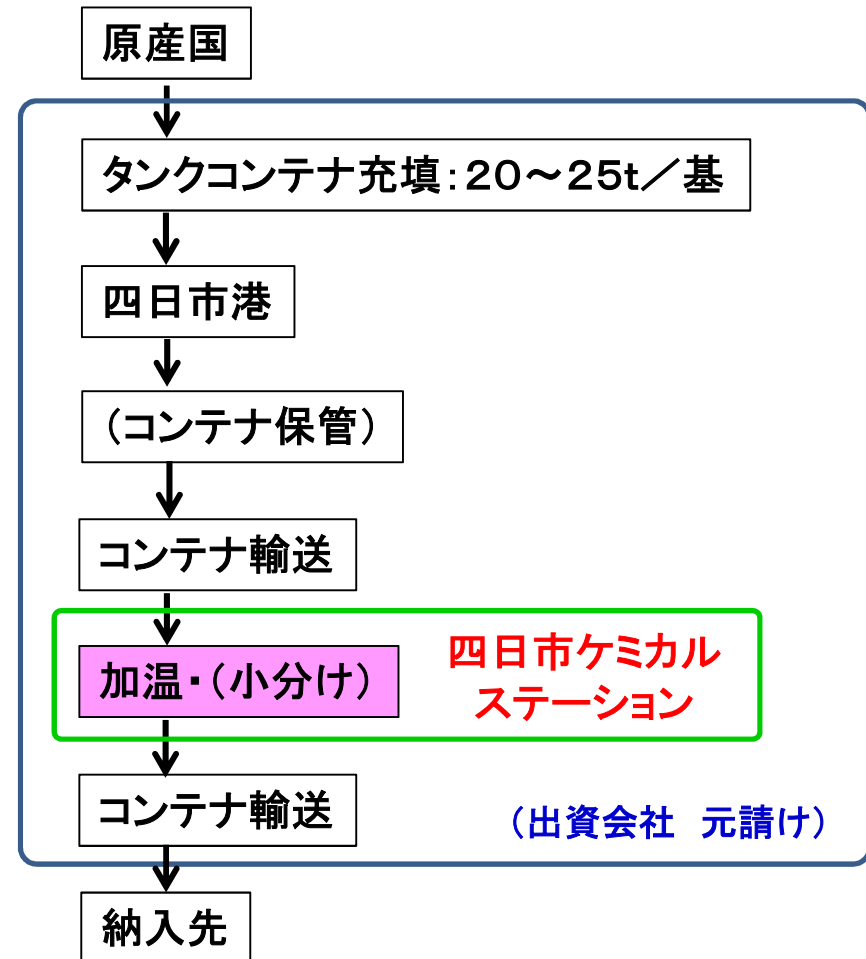
汎用ケミカル原料（使用料：100t/月）
凝固点：50℃（指定可燃物）

- ・「必要なモノを必要な時に必要なだけ」調達可能
- ・原料品質の安定化（熱履歴が少ない）
- ・エコ物流に貢献；原料使用時のみ加温

【油槽船利用】



【タンクコンテナ利用】

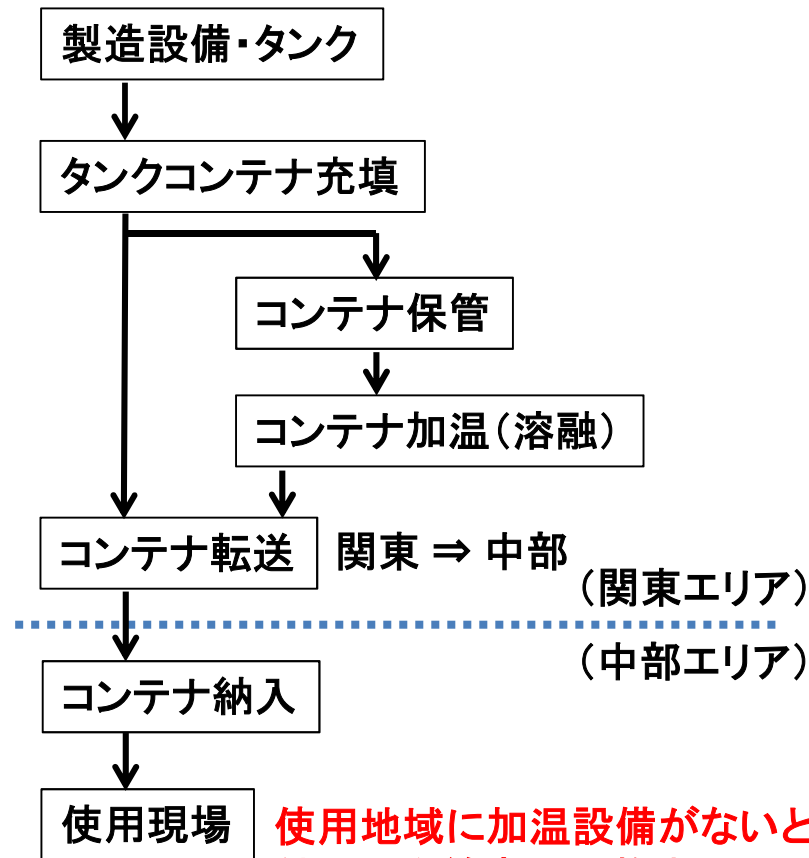


タンクコンテナによる効率化案件例(2)

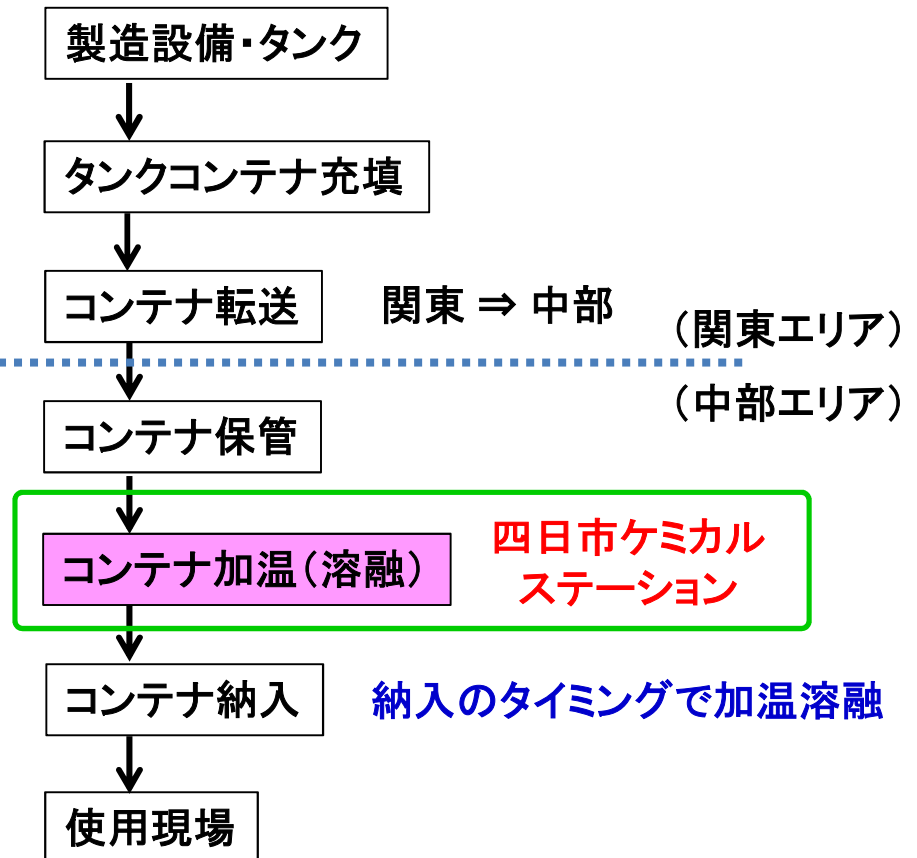
汎用ケミカル原料 凝固点: 40°C (指定可燃物)
製造地区; 関東エリア 使用地区; 中部エリア

・原料手配に関してフレキシブルな対応が可能
都合の良いタイミングで充填・転送
納入に合わせて加温・溶融

【製造地区加温】



【使用地区加温】



使用地域に加温設備がないと
納入日を綿密に調整する必要がある
(例: 充填から4日以内に納入)

大量購入による効率化(準備中)

原産場所・生産場所 タンクコンテナ使用:20~25t/基

四日市港・四日市エリア

コンテナ保管 バンプール

コンテナ輸送

加温

四日市ケミカル
ステーション

移し替え
(ローリー・IBC)

小分け
(ドラム・缶・IBC)

コンテナ輸送

納入先

(出資会社 元請け)

輸送

納入先

保管

輸送

納入先

危険物倉庫

「必要なモノを必要な時に必要なだけ」

タンクコンテナで四日市エリアに持ち込んだ
化学品を加温・保管・小分け・移し替えなどの
作業により効率的にお届けします。



四日市地区の特徴を活かした物流ネットワーク

【四日市港の活用】

- コンテナ定期船航路 定期航路網 : 16 サービス (週)
寄 港 地 : 韓国・中国・台湾・香港・ベトナム・フィリピン・マレーシア・インドネシア・タイ・シンガポール
- 補助金制度の充実 : 四日市港利用支援事業補助金
※四日市港管理組合HP ⇒ http://www.yokkaichi-port.or.jp/yp_extend/index.html
- CYゲートにおけるスムーズな搬出入により待機時間の短縮
⇒ トラクターヘッドの効率的な運行が可能

【拡がる道路網】

- 高速道路網の整備・拡充
東海環状自動車道 : 2024年 全線開通予定
新名神高速道路 : 2019年 延伸(新四日市JCT~亀山西JCT)
- 四日市港へのアクセス道路の整備 : 2018年 いなばポートライン開通



四日市港利用優位圏への更なる効率的な物流サービスの提供

- ・優位圏から四日市港までの輸送時間の短縮化を実現
- ・二酸化炭素の排出削減

四日市港 コンテナ定期航路

コンテナ定期路線網
週16サービス
(2020年2月現在)



仕向地 仕出地	輸 出 (週)	輸 入 (週)
韓 国	5 便	3 便
中 国	7	8
台 湾	5	4
タ イ	3	3
シンガポール	4	3
インドネシア	2	2
ベトナム	4	5
マレーシア	2	2
フィリピン	2	2

東南アジア各国と直接複数の便で結ばれています。トランシップサービス・フィーダーサービスでこれら以外の国への輸出入も可能です。

拡がる高速道路網



新規開通

路線・区間	延長[km]	完成予定年度
E1A 新東名高速道路		
伊勢原JCT～伊勢原大山	2	2019
伊勢原大山～御殿場JCT	45	2020
C3 東海環状自動車道		
関広見～高富	9	2019
大野・神戸～大垣西	8	2019
C2 名古屋第二環状自動車道		
名古屋西JCT～飛鳥JCT	12	2020

※国土交通省と共同で事業を実施する区間の完成予定年度は、今後の事業進捗の状況を踏まえ改めてお知らせいたします。
2021年度以降に完成予定の事業につきましても、引き続き進捗を図ります。

暫定4車線区間の6車線化

路線・区間	延長[km]	完成予定年度
E1A 新東名高速道路		
御殿場JCT～浜松いなさJCT	145	2020年度から順次
E1A 新名神高速道路		
亀山西JCT～甲賀土山	13	2022年度から順次

凡例

営業中	2018年度開通
建設中	
スマートIC	スマートIC

四日市利用優位圏（ご参考）

【四日市利用優位圏】

黄色のエリアから最も短時間で行ける港は**四日市港**です。
二酸化炭素(CO₂)の排出量削減に繋がります。



各地から港までの貨物輸送によって排出されるCO₂量の比較



【参考】各地から港までの距離			
起 点	四日市港	名古屋港	大阪港
	距離 (km)	距離 (km)	距離 (km)
四日市市	5.8	24.0	151.1
鈴鹿市	16.6	34.8	144.1
津市	36.1	54.3	154.8
伊賀市	63.1	81.3	95.5
伊勢市	78.4	96.6	197.1
長浜市	85.5	92.7	155.9
米原市	77.0	84.2	147.4
彦根市	83.0	90.2	137.8
近江八幡市	94.6	112.8	114.8
栗東市	84.6	101.9	90.9
甲賀市	63.0	81.2	111.4

※各地と各港間において、20フィートコンテナを週一箱、一年間輸送するケースを従来トンキロ法により四日市港管理組合で試算したものです。

図 1.10 四日市港利用優位圏

以上